

アフターピルの薬局販売（市販化）に関する詳細

2025年8月に、あすか製薬の「ノルレボ錠」の市販化が決定しました。詳細は厚生労働省から発表される予定ですが、2025年9月時点で開始時期や価格等は決定されていません。

■アフターピル市販化までの流れ

2011年2月	国内でアフターピルが承認される
2016年	緊急避妊薬の市販化に係る要望書の提出
2017年11月	市販化に関する会議を実施 ↳市販化は時期尚早と判断される
2019年7月	アフターピルのオンライン診療が開始
2020年10月	市民団体がアフターピルの市販化を求めて要望書を提出
2021年6月	国が市販化に関する議論を開始
2023年6月	薬局での試験販売の方針を決定
2023年11月	薬局での試験販売が開始
2024年3月	国が試験販売の継続を発表
2024年6月	あすか製薬がノルレボ錠の市販化を申請
2024年10月	試験販売の店舗拡大
2024年10月	富士製薬がレボノルゲストレル錠の市販化を申請
2025年5月	アフターピル市販化のための薬機法改正
2025年8月	厚生労働省が市販化を承認

■アフターピルの市販化の詳細

令和7年の8月には、国の会議で薬局でアフターピルの販売を行う方針が承認されています。また、アフターピル購入時に薬剤師の面前での服用が義務化されることや、年齢制限を設けないことなども決定されました。

決定事項	・薬局での試験販売の継続 ・薬剤師の面前での服用 ・薬剤師の研修の義務化
未定事項	・市販化の時期 ・アフターピルの価格 ・販売店

■市販化されるアフターピルの詳細

「ノルレボ錠」は、国内で承認を得ているアフターピルの1つです。海外でもアフターピルの有効成分として使用されている「レボノルゲストレル」が配合されており、主に排卵の抑制作用により妊娠を防ぎます。

	有効成分 レボノルゲストレル
	妊娠阻止率 全体:85% ～24時間:95% ～48時間:85% ～72時間:58%
	値段 10,000円前後 ※医療機関での相場
ノルレボ錠	使用方法 性行為から72時間以内に水やぬるま湯で1錠を服用する

※令和7年10月11作成